

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院内分泌代謝科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものです。この研究では、亡くなられた方の診療情報も、貴重な情報として、研究対象として扱わせていただきます。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「自分や家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

2008年1月1日から2021年12月31日までの間に、インスリノーマのために虎の門病院に入院された方

【研究課題名】

インスリノーマの臨床学的検討

【研究の目的・背景】

《目的》

インスリノーマの症例を集積することで、低血糖を来たす疾患（糖尿病の初期にみられる反応性低血糖など）の中からインスリノーマの特徴を明らかにすることを目的としています。

《研究に至る背景》

インスリノーマは低血糖を来たす比較的稀な疾患ですが、低血糖による症状には多様性がみられます。インスリン過剰分泌による低血糖症状が主症状で、空腹時に低血糖を来たす症例では、診断は比較的容易ですが、これらを満たさない症例では反応性低血糖と鑑別を要することも経験されます。

当院で経験したインスリノーマの症例を集積し、インスリノーマの臨床学的な特徴を明らかにすることで、低血糖の治療方針の決定に有用と考えられました。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2022年2月18日 ～ 2023年12月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌

等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また、本研究に関わる記録・資料は 虎の門病院・内分泌代謝科 糖尿病・代謝部門 部長 森 保道 のもと研究終了後 5 年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

診療情報：検査データ、診療記録、CT データ、MRI データ、問診票、薬歴、看護記録など

【虎の門病院における研究責任者】

虎の門病院 内分泌代謝科 森 保道

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。

また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2022 年 6 月 30 日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様にご不利益が生じることはありません。

【相談窓口】

虎の門病院 内分泌代謝科 鈴木優矢

電話 03-3588-1111(代表)